



鯖江^{きょうりゅう} 鸕陽会館にて、県本部第25回保育集会が行われました。県内より、100名以上の保育に携わる人たちが集まり、子どもたちがよりよく育っていく為に学びあいました。

- ★ 歓迎レセプション
- ★ 開会 主催者・県本部委員長あいさつ

- ★ 基調講演 『こどもの笑顔がみんなの笑顔 ～早よねて早よおきて、朝ごはんたべよっさ～』
講師 小児神経学クリニック院長 星野 恭子氏
(子どもの早起きをすすめる会 発起人)

“早寝早起き朝ごはん”昔から言われていることですが、科学的・医学的観点から睡眠と子どもの発達について学びました。

乳幼児期の脳の発達や運動の発達に、直接関連しているセロトニン神経。この神経を活性化させるには睡眠が最も重要で、睡眠リズム＝命のリズムということをお教えいただきました。夜行性ベビーはこのリズムが崩れ、指差しや喃語が少ない、情緒が不安定になる、多動や精神の症状がでるなど様々なことで発達に悪影響を及ぼすことを聞き、改めて早寝早起きの必要性を強く感じました。共働き、夜遅くまでの就労などにより、早く寝て早く起きることが難しい現在の社会状況ですが、私たちは保育士として、保護者に寄り添いながらも凛とした態度で接することが大切です。の正規雇用にすることが本当の子育て支援ではないのかという話も出て、考えさせられることが多く、問題が深い講演内容でした。



- ★ 分散会 『講演を踏まえた各園の現状と取り組みについて』をテーマに、担当年齢をもとに13のグループに分かれ話し合いをしました。
 - ・睡眠について、園だよりなどを利用し親の意識を高めたり、あそびの中で子ども達の意識を高めていくとよい。
 - ・調理師グループからも簡単に作れる朝ごはんのレシピを掲示していきたい。
 - ・保育士は保護者に近く、睡眠環境の整え方を解りやすく伝えていけるのではないかと。愛情をもって継続して伝えていきましょう。など、今後すぐに活かせる意見がたくさんでした。



昨年の保育集会は、『子ども子育て支援新制度』『教育と保育の連携』をテーマに、県内で取り組みをされている園の事例発表とグループ討議を行いました。この保育集会は、その時々で保育に必要なテーマが取り込まれ開催されています。『県内各地の仲間たちと学び合ったり情報交換したりできとても有意義な時間を過ごすことができた』と感想をいただいています。参加された先生方は必ず伝達をお願い致します。そして来年度の保育集会もご期待！！来年も是非一緒に参加しましょう！！